

「古墳時代」 期末テスト対策ポイントまとめ

中学の古墳時代、コレがプラスされる！

- 大和政権と、地方の豪族の関係
- 大和政権は、朝鮮半島や中国とどんな関係だったか
- 渡来人が日本に伝えた技術の詳しい内容

古墳時代、基本知識をおさらい！

古墳ってなんだっけ？

弥生時代に人々が米作りをはじめたね。

米作りは、チームになって作ったほうが効率がいいので、人々は「むら」を作って生活していた。

「むら」のリーダー的存在の「指導者」は、「むら」の人々を支配するようになって、「貧富の差」が出てきたんだ。

「むら」同士でも、土地や水を取り合うために戦いが起きたりして、勝った「むら」の指導者は、制覇した「むら」の人々や土地を従えて「くに」を作るようになっていった。

こうして、各地方で支配者になった一族のことを「豪族」と呼ぶよ。

豪族は、自分がどれだけ大きな力を持っていたかということをアピールするために

「大きな墓」を作るようになったんだ。

それが「古墳」だね。

「古墳」がたくさん作られた時代を「古墳時代」と呼ぶよ。

大和政権ってなんだっけ？

古墳時代、今の大阪と奈良県（当時は大和地方）には、とても力のある豪族が集まっていたんだ。

そして、その豪族たちが連合（協力し合うイメージ）して作ったのが「大和政権」だね。





大和政権のトップは「大王（おおきみ）」と呼ばれていたよ。
大王は後の天皇だったよね。

渡来人ってなんだったっけ？

渡来人というのは、朝鮮半島から日本へ移り住んできた人のことだよ。

弥生時代に「米作り」を伝えてくれたのも渡来人だったね。

大和政権は渡来人から色々な技術を教えてもらったり、渡来人の力をかりて、さらに力を強めて行ったんだ。そして、九州から関東までを支配することが出来たんだよ。

大和政権と地方の豪族の関係

大和政権のしくみ

大王を中心にした大和政権では、豪族はそれぞれ「氏（うじ）」という集団を作っていたよ。

氏は、基本的には血縁関係（血のつながり、つまり家族のイメージ）をもとにして作られた集団。

中央（大和政権の中心）の豪族は、氏ごとに先祖代々、決まった職業を担当していたりしたよ。



地方の豪族との関係は？

そして地方の豪族は、その地方の土地や人々を支配することを認めてもらう代わりに、大和政権に貢物を納めていたんだ。

大和政権と朝鮮・中国の関係

大和政権や豪族たちは、「鉄」を手に入れるために朝鮮半島の南の端にある「伽耶諸国（かやしよこく）」と交流をしていたんだ。

勢力を広げるためには、強い武器が必要になるよね。

なので、鉄などを手に入れようとしていたんだね。

伽耶諸国は鉄が多くとれる生産地帯だったんだ。

でも、ほかの国だって鉄は欲しいよね。

この頃の朝鮮や中国はどんな状態だったかというと・・・

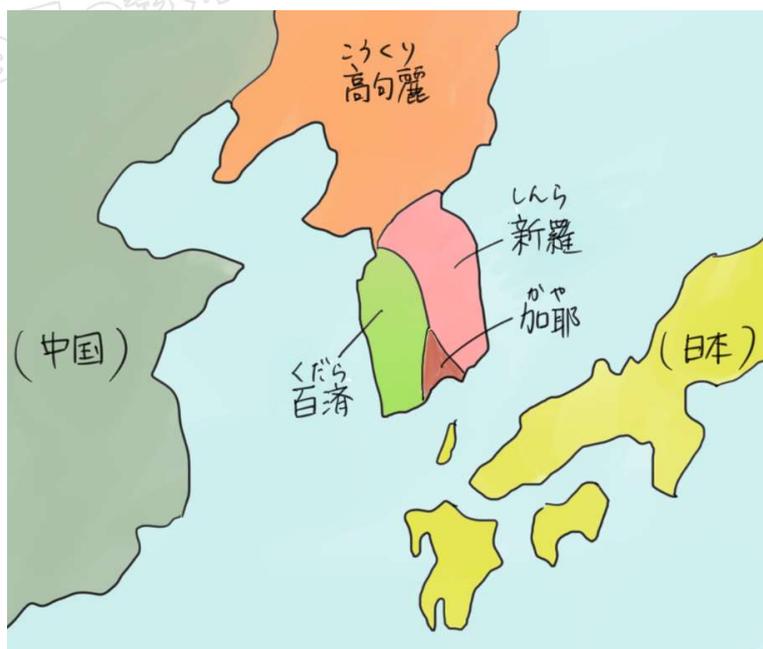
この頃の朝鮮半島

朝鮮半島の北部は、「高句麗（コグリョ）」という国が支配していたよ。

南部には、「新羅（シルラ）」と、「百済（ペクチェ）」という国があったよ。

朝鮮半島に3つの国があったので、この時代を「三国時代（朝鮮半島）」と呼ぶよ！

※伽耶は、小さな国が集まってできた連合体なので「国」としてはカウントされていないんだね。



朝鮮半島の国と大和政権の関係

大和政権は伽耶諸国と交流して鉄を手に入れていたんだよね。
朝鮮半島の北部を支配していた高句麗だって、鉄が欲しいよね。
そんなワケで、鉄をめぐる大和政権と高句麗はライバル状態。
一方、百済も高句麗とは対立していたんだ。
ということは、「敵の敵は味方！」となって、百済と大和政権は同盟を結んだよ。
そして、大和政権は高句麗や新羅と戦うことになったんだ。

この頃の中国は？

この頃の中国は、南北に分かれて王朝（王が支配する政権のこと・中国では皇帝がトップ）ができていて、そのうちの南朝（南側の王朝）は「宋」という王朝が支配していたよ。

宋と大和政権の関係

大和政権は、この宋に何度もお使いを送っているよ。
何のためのお使いかというと、中国はこの頃のアジアの中で「大国」だったからね。
「宋の皇帝に認められた」となれば、朝鮮半島の国から一目置かれるよね。
そうすれば、対立していた高句麗との関係が有利になると考えたんだね。

渡来人が日本に伝えたもの

伝えたもの①

技術

渡来人は、土木工事の技術、金属を加工する技術、絹を織る技術、そして「須恵器（すえき）」という土器の作り方を伝えたよ。
縄文土器や弥生土器は素焼きなんだ。
須恵器は、「窯を使って焼く」ところが違いだよ。
窯を使うと、高温で焼くことができるので、素焼きの土器よりも硬いんだ。



伝えたもの②

漢字

日本には、ずっと文字がなかったよね。

だから、邪馬台国のことは記録が残ってなくて、今でもナゾのままなんだもんね。

渡来人は、日本に「漢字」を伝えたんだ。

渡来人は大和政権の記録を残したり、外国へ送る文書を作ったりして、活躍していたよ。

伝えたもの③

仏教

6世紀に、大和政権と同盟を結んでいた百済から「仏教」や「儒教」が伝わったんだ。

儒教とは、孔子が説いた教えや信仰のこと。

五経博士（ごきょうはかせ）（儒教の5つの経典を学んだり教えたりする人のこと）によって日本に伝えられたんだよ。※儒教が日本に伝わったのは5世紀という説もあるよ。

古墳時代に、渡来人が日本に伝えたものとして「当てはまらないもの」を選ぶ問題がでた中学校があるよ！

①稲作 ②須恵器 ③漢字 ④儒教 ⑤仏教

答えは①の稲作だね。

稲作も渡来人が日本に伝えたけれど、それは弥生時代のころだったね。

問題では、「古墳時代に」と書かれているので、ここでは「稲作」が当てはまらないものになるよ。



中学歴史ではココを押さえればOK！古墳時代まとめ

古墳時代まとめ

※赤いキーワードは絶対に覚えよう！

- 地方の豪族は、地方を支配することを認めてもらう代わりに、大和政権へ貢ぎ物を納おさめていた。
- 大和政権は、鉄を手に入れるために朝鮮半島南端の**伽耶諸国**と交流をしていた
- この時代の朝鮮半島は、**高句麗・百済・新羅**が支配していた。
- 大和政権は百済と同盟を結び、高句麗や新羅と対立していた。
- この時代の中国の南朝は宋が支配していた。
- 大和政権は、宋へ何度も使いを送っていた。
- 渡来人は、土木工事・金属加工・絹織物ものの技術を日本に伝えた。
- 渡来人は、**須恵器**という土器の作り方を伝えた。
- 渡来人は、日本に**漢字**を伝えた。
- 6世紀に、百済から**仏教**や**儒教**が伝わった

ゆみねこの教科書

ゆみねこの教科書

